ガバナーメッセージ

ためになる魅力あるロータリー

～自分を磨き、品格とクラブの魅力を高めよう～

国際ロータリー第２５９０地区 ガバナー **吉田　隆男**

水と衛生月間

風薫る季節となり、今年度も残り４カ月となりました。

私を含め１９４７年～４９年生まれの団塊の世代も高齢者の仲間入りをして、ロータリアンの平均年齢も相変わらず高まっている状況です。若い会員の入会を進め、増強する事が緊急の課題であります。本年度の６月末までに、各クラブの皆様には、今まで以上に会員増強に力を入れて頂きたいと思います。

増強するにあたりましては、各クラブの魅力を高め、ロータリアンになって、“ためになる”ということをアピールして頂くことも、一つの手法ではないかと考えております。自己鍛錬となり品格を高めることができる、職業を通じて社会に役立つことができる、社会・国際・青少年に対する奉仕活動できる。これらはみなロータリアンだからできる事です。私達の活動をマスコミなどを通じて紹介し、公共イメージの向上に、より一層取り組んで頂きたいと思います。

さて３月は「水と衛生月間」です。“世界でよいことをしよう”で始まったロータリー財団では、世界にわたり様々な活動を支援しています。７つの重点分野※のうち、ロータリアンが取り組む活動で最も多い活動は「水と衛生」です。

水は命にかけがえのないものですが、昨今では気候変動の問題が発生しています。地球の平均気温の上昇のリスクと共に、砂漠化する面積が広がり、そのために農業生産による作物の収穫量や漁業の漁獲量も減少しています。平均気温が４度上昇すると大洪水の頻度が増える可能性も指摘されています。取り巻く環境の複雑化は、日本経済の成長に大きくかかわってくるとも言えると思います。

ところで水と森林には密接な関係があります。日本は急緩な地形が非常に多い国土でもあります。このような状況において、日本には零細な林業所有者が多く、昨今では所有者、地形の境界不明など様々な問題も抱えています。少子高齢化が進み、コンパクトシティ（集住化）を推進し、余った土地は自然に返す時代も遠い未来のことではありません。

世界では安全な水と衛生の重要性はさしせまった問題となっています。世界には安全な水が得られない人が８億人弱いるといわれています。これらに対し、日本のロータリークラブでもグローバル補助金を使って、井戸、シャワー、トイレ設備などの支援に多くの活動事例があります。“世界でよいことをしよう”の下、世界各国のロータリアンと共に活動していくことが必要と考えております。

地区大会につきましては、当初２０２０年１１月に予定されておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、２０２１年４月１０日に延期しました。２０２１年１月から地区大会開催の準備のために、新型コロナウイルスの収束の見通しをみてまいりました。しかし感染拡大はおさまらず、不透明な状態が続いています。誠に残念でありますが、パシフィコ横浜で開催する方式は止めるべきとの判断にいたりました。

本年度の地区大会はすべて映像化し、第２５９０地区のロータリアンに向けて「YouTube 」を介しご覧いただく方向で進めております。この方式は、これからのロータリーの新しい地区大会の在り方を考える機会にもなるものと考えております。（概要は右頁ご参照）

残り４ヶ月となりますが、皆様方と共にこの難局を乗り越えていく所存であります。引き続き第２５９０地区発展のためにご協力を宜しくお願いいたします。

※今年度はじめ、“環境”が正式に重点分野に追加され、重点分野は７つとなりました。クラブと地区は、２０２１年７月１日より、この分野のグローバル補助金を申請することができるようになりました。